

「省エネで、足腰も丈夫になる」共和国、宣言。

健康づくりとCO2削減で、団地を再生。
その名も、葉山共和国。



子どもたちの巣立ちや定年退職者の増加を受け、活力が低下した住宅団地の高齢化対策を目的に「建国」された、葉山ヘルスケア・省エネ共和国。健康や住みよい地域づくりという視点から、身近でできる省エネに取り組んでいます。自らの資金と技術による「省エネナビ」の設置と解析、看護大学や企業などと連携した健康管理、地区の環境デーと連動したノーマイカー運動など、取り組みやすく効果的な活動は着実な成果を挙げ、地域全体に広がりを見せています。



健康と環境をテーマに掲げて活動。「体重減らし隊」は、健康づくりの一貫として、食生活の改善に取り組む。

団体名:葉山ヘルスケア・省エネ共和国
所在地:福岡県宗像市

都道府県大会の名称

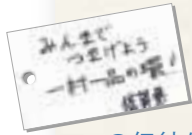
ふくおか減CO2自慢コンテスト



「省エネナビ」を設置して、省エネの効果を検証。省エネ行動の成果がすぐにわかるため、子どもたちにも好評。

「ごみくい」って、知ってます？

小川の泥をみんなですくって田畑にまく「ごみくい」。生態系を壊さない昔の農法を再生します。



クリーク文化圏である佐賀の知恵「ごみくい」とは、小川の泥を田畑にまくこと。この伝統を復活させることにより、土壌を豊かにし、循環型農業の持続的な実現を目指すとともに、水辺の生態系の再生に取り組んでいます。地元の子供会、小中学校、大学、市民等に対しては、農業体験に基づく環境教育や生涯教育を実施。地域コミュニティの再構築を図っています。地元の大学との連携により、土中・水中の有害重金属や残留農薬の分析評価も行っています。



「ごみくい」。地域住民が力を合わせて、クリークの底泥を引き上げる。

団体名:元気・勇気・活気の会
所在地:佐賀県佐賀市

都道府県大会の名称

見直そう! がばい佐賀の知恵袋コンテスト



子どもから大人まで、市民を対象に農業体験を実施。